

2023 年度 認知科学／認知科学と人工知能 筆記テスト

注意：以下の問題において用いられる記号・用語などの表現は、特に断らない限り、講義において用いたものとする。なお、用語の問題においては同じ答となることはない。同じ答を書いた場合はその部分を0点とするので、注意すること。また、漢字で書くべきところを仮名で書いたり、誤字があったりした場合も0点とする（用語については英語で解答してもよいが、スペルミスは同様に0点とする）。

1. 次の文は人間の記憶機能について書いたものである。次の文中の空欄 a ~ e に当てはまる用語を書きなさい。

記憶についての伝統的な心理学的研究において、記憶の過程は、、保持、の3つの段階からなると考えられている。とは情報を覚え込むはたらきであり、情報処理モデルでは符号化と呼ばれる、同様に保持に対しては、に対しては検索という用語が用いられる。

また、aという用語は、長期貯蔵庫への情報の取り込みにおいても用いられる。情報がdから長期貯蔵庫へと送られるためには、d内に情報が十分に長い時間とどまることが必要であるとされる。aすべき情報を声に出して（あるいは心の中で）復唱する作業をeという。

a () **b** () **c** ()
d () **e** ()

2. 次の文は人間の大脳皮質について書いたものである。文中の空欄 a ~ e に当てはまる用語を入れなさい。

大脳皮質は、前頭葉、頭頂葉、a、bの4つの部分に分けられる。aには視覚野があり、bには聴覚野がある。一方、頭頂葉の中心溝にそった領域には、身体各部の触・圧感覚を司るcがあり、前頭葉の中心溝を挟んでcと向かいあう位置には身体各部の制御を司るdがある。これら以外の皮質の大部分（全体の3分の2）は特定の感覚機能や運動機能との直接の関わりは明確ではない領域であり、eと呼ばれる。このeに内部世界が作られることにより、高等な心的機能が生まれると考えられている。

a () **b** () **c** ()
d () **e** ()

3. 次の認知科学に関わる用語を説明しなさい。ただし、各用語とも 50 文字程度以内で記述すること。※マス目は 56 文字分ある。なお、本授業の内容を踏まえて書くこと。

(a) 刺激と反応

[illegible]

(b) メンタルモデル (ジョンソン・レアード)

[illegible]

(c) CSCW ※CSCW の元の英語の記述（スペルアウト）は解答に含めないようにすること。

[illegible]

(以下、余白)

(裏面への解答不可)

授 業 科 目 名	担当者名	開講 曜日時	木曜日 2 講時	先端理工学部／ 理工学部	氏 名		学 籍 番 号						採 点
認知科学 認知科学と人工知能	小 堀	実 施 日	6 月 8 日 2 講時				課程／学科 年						